

● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
議 会		
國會要覧 第六十八版限定版	中島 孝司(編)	国政情報センター
國會議員要覧 令和二年八月版	中島 孝司(編)	国政情報センター
ま ち づ くり		
楽しい公共空間をつくるレシंप プロジェクトを成功に導く66の手法	平賀達也 ほか	ユウブックス
都市公園のトリセツ 使いこなすための法律の読み方	平塚 勇司	学芸出版社
そ の 他		
写真アルバム 海南・有田・御坊・日高の昭和	小関 洋治(監)	樹林舎
障害者白書 令和2年版	内閣府(編)	内閣府
数字でみる港湾 2020	国土交通省港湾局(監)	(公社)日本港湾協会
ここが変わった！民法改正の要点がわかる本	有吉 尚哉	翔泳社
自治体職員が知っておきたい債権管理術 使用料・手数料等の滞納債権を消滅時効させないために	大塚 康男	ぎょうせい



今年を漢字一字で表すと・・・



みなさん、12月12日は何の日か御存じですか？実は「漢字の日」なんです。その日にちなんで、今年一年を表す漢字一字が、京都の清水寺で発表されます。清水寺の貫主さんが筆で大きな和紙に揮毫(きごう)される場所はテレビでも放映され、恒例の行事となっています。

ここ数年の漢字を振り返ってみると、平成28年はリオオリンピックの年で「金」、平成29年は北朝鮮のミサイル北海道沖落下や九州北部豪雨災害などで「北」、平成30年は日本各地で起きた大規模自然災害により多くの人が被災がされた年で「災」、令和元年是新元号にちなんで「令」が選ばれています。その年の社会の風潮がよく表れていて、出来事も思い出せて、一字で表現できる漢字は、改めてすばらしいと感じました。

そこで、今年の和歌山市を振り返って、私が思う和歌山市版の漢字一字を考えてみたいと思います。

1月	こども総合支援センター・本町こども園複合施設オープン 花山交差点内の水道管(花山水系)で漏水発生	7月	和歌山市中央卸売市場総合食品センター棟「わかやま〇(まる)しえ」オープン
3月	四季の郷公園が市初の道の駅に登録		雑賀崎漁港の海上釣堀「雑賀崎シーパーク」オープン
4月	宝塚医療大学和歌山保健医療学部開設 芦原こども園・本町こども園開園		四季の郷公園「FOOD HUNTER PARK」オープン
5月	和歌祭 神輿おろし・渡御行列中止	8月	紀州おどり「ぶんだら節」中止
6月	和歌山市民図書館とキノ和歌山が同時オープン 『「葛城修験」一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地』日本遺産認定	10月	和歌山城まちなかキャンドルイルミネーション・竹燈夜中止
		11月	和歌山ジャズマラソン中止。代替イベントとしてオンラインマラソン開催

ここでは、紹介しきれないものもたくさんありますが、コロナ禍の中で多くの施設がオープンし、明るい話題を集めたことから、私は「開」の一字にしたいと思います。和歌山市民図書館や四季の郷公園にも行きましたが、どちらも今までにない新しい空間で居心地の良い所でした。一方で、ステイホームやテレワークなど家で過ごす時間が増え、いろいろなイベントも中止となるなど少し寂しい年でした。来年はコロナも収束し、「開」けた明るい年になるように願いも込め、この漢字を選びました。

みなさんは、どのような漢字を選びますか。

※参考資料: 公益財団法人日本漢字能力検定協会ホームページ